

第 02345 号

発行日 平成 26 年 10 月 22 日

●本日のプログラム

宮田ガバナー補佐来訪

●次週のプログラム

夜の例会

下館ロータリークラブ会報

Rotary International
District 2820
SHIMODATE ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT



ロータリーに
輝きを

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン



会長 鈴木光則 副会長 小林一彦 幹事 早瀬浩一 会長エレクト 新井和雄

事務所 ダイヤモンドホール 〒308-0847 筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511 FAX0296-28-8533
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp

例会場 毎週水曜日 PM12:30～ ダイヤモンドホール(筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511)



前例会報告 第2628回 2014/10/15(水)

お客様 ようこそ下館RCへ

嵐 文秀様 (勲日本いけばな芸術協会特別会員)
大嶋康秀様 (池坊いばらき花扇会支所長)

会長挨拶 鈴木光則 会長

前例会で2016～2017年度 下館ロータリークラブ会長立候補の公示をしましたが、立候補の届け出がありませんでしたので、指名委員会で審議をしていただきます。

2名の新会員推薦があります。

*軽部 正紀さん (元真壁 RC 在籍)
軽部酒造店 店主

*杉山 イネさん (懶稲善 会社役員)

以上2名の方の入会に異議がある方は1週間以内に書面にて会長か幹事まで申立てしてください。

幹事報告 早瀬浩一 幹事

1. 地区よりPHS(ポールハリスソサエティ)の入会ご案内・申込書が届きました。財団委員長へお渡ししますので入会よろしくお願ひします。
2. ガバナー公式訪問が11月5日に行われます。メールBOXにタイムスケジュール等入れていますので、役員・理事の皆様は10時、それ以外の会員の皆様は12時に集合よろしくお願ひします。なお、午後のクラブ協議会は、全員参加お願ひします。特に3年以内の会員の方は義務出席となりますので、よろしくお願ひします。又、今年度は原点に戻り、ガバナーとの懇親会を行いますので奮ってご参加下さい。
3. 結城RCより会報を受理しました。
4. しもだて紫水RCより現況報告書が届きました。

外部卓話

池坊いけばな教授 嵐 文秀様

江戸時代中期の池坊いけばな — 池坊門弟帳に記された下館 —

本日は経済界第一線の皆様の前でお話できる機会を頂き有難うございます。池坊の六角堂は正式

名を紫雲山頂法寺と申します。用明二年(587年)聖徳太子が持佛である如意輪観音の霊告により草創され、遣隋使となった小野妹子(入道して専務)の開基と伝えられており、当代は45世池坊専永宗匠です。



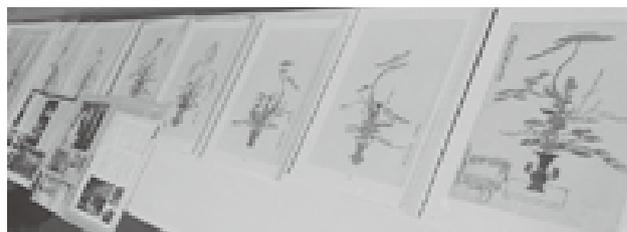
西国三十三ヶ所の18番目の霊場としても広く知られています。又、親鸞上人は比叡山から六角堂に通いお籠りして98日目に、夢告により浄土真宗を開ききっかけとなりましたが、新潟に配流の後、現在の笠間市稲田の西念寺を基点として18年間の布教活動の後、京に戻ります。

平成24年日本橋高島屋で開催された、歴史書「碧山目録」に記されて550年を記念した花展では、歴代の花形が復元され、5万人余の入場者を迎えました。

仏前の供華として出発した池坊いけばなは、古くから天皇の法事や女院の入内など、慶弔共に宮中に深いかかわりをもって参りました。天正十三年(1585年)豊臣秀吉より寺領を頂き、天正十八年(1590年)加賀藩主 前田利家の依頼で、秀吉を迎える為 31世池坊専好(初代)が立てた松の大砂物は、間口五間に及び、背後の四幅対の掛軸に描かれた沢山の猿が、枝の上で遊んでいるかのように見え「池坊一代の出来物」と伝えられています。

元和元年(1615年)徳川家康より寺領を頂き、二代将軍秀忠の時、息女和子が後水尾天皇の中宮(東福門院)となりますが、秀忠は立花を好み、後水尾天皇も、池坊史上傑出した技を持つ32世専好(二代専好)を高く評価し、33回に及ぶ宮中立花会の指導をまかされました。京都の曼殊院に行くと二代専好の立花図を拝見できます。

五代将軍綱吉の時代は、34世池坊専養の時代ですが、出版界が大変活発になり、池坊立花の手本書ともいえる「古今立花大全」をはじめ「立華正道集」「抛入花伝書」「立華時勢粧」「新撰瓶花図彙」他、いけばな史上の名著が次々と出ております。



近松門左衛門、市川団十郎、坂田藤十郎、井原西鶴、



松尾芭蕉、尾形光琳等、文化華やかなるこの元禄時代に、いけばな史上特記する事項は、公慶上人の血のにじむような大勧進のお蔭で、元禄五年(1692年)戦火にあった東大寺大仏の開眼供養が行われますが、その時池坊の高弟猪飼三枝と藤掛似水により立てられた大仏前の一対の松一色立花です。作品は三丈二尺というとても大きく大きな立花で、確かな技を用いて立てられた見事な作であったことが、「六角堂門弟并砂物図」に掲載された作品図から容易に窺い知ることができます。現在も東大寺に行くとこの立花瓶が見られます。

今日池坊の総務所に所蔵される貴重な記録「永代門弟帳」は、この専養の時代、延宝六年(1678年)に記帳がはじまり、元禄、享保を経て寛延四年(1751年)九代将軍家重にいたります。池坊では36世専純の時代に及ぶ75年間の記録です。この寛延四年8月15日に『常州下館、石川内膳正殿家老、紅林源右衛門』の名が記載されています。専純は延享三年(1746年)江戸城で将軍家重に立花・砂物を上覧に供しており、この時下館城主は石川家三代総候の時代で、その領地目録が下館市史に載せられた上牧家文書にあります。紅林源右衛門は江戸家老だったようですから、実際にその作品を拝見するか、あるいは聞き及んでいたことは充分考えられます。ちなみに元禄十四年(1701年)におこった赤穂事件、浅野内匠頭長矩の敵役である吉良上野介も立花を好み邸で立花を立てさせたその絵図が今も残っております。



紅林家は大正までその子孫の方が下館にお住まいで、その後は音信が途絶え分からなくなっているようです。妙西寺にいくつもの墓石が残され訪れる方もなく、お寺でお守りしているようです。この他に9名の記名があり、二万石の小藩としては、かなり特筆すべきことと思います。

同じ池坊のいけばなを携わる身として、この方達の生きた時代がどんな時代であったのか、いけばながどういう存在であったのか、今後少しずつ研究を進めてゆきたいと考えております。

尚、本日は拙い作品ではございますが、江戸中期の作品の復元を心に描いて立調いたしました。



元気づけられる話⑥ 館野 博 会員

8. 今北純一さん

今北純一さんというビジネスマンがフランスを中心に活躍されています。

1946年生まれ。大学卒業後、旭硝子に入社。その後、ルノー公団やエア・リキード社に移り、現在、欧州系のコンサルティング会社の日本関連プロジェクト統括ディレクター。1995年にはフランス政府から『国家功績勲章』を受章、という経歴をお持ちの方です。その方の著書『仕事で成長したい5%の日本人へ』(新潮新書)からの抜粋。

●成長に必要な三代要素『MVP』

私は人間の成長には『MVP』という三代要素が必要だと考えています。つまりM(ミッション)、V(ビジョン)、P(パッション)です。このMVPは、私が与えた定義によれば、それぞれ『ミッション』=個人や組織が挑戦すべき目標、『ビジョン』=ミッションに至る具体的な道筋、『パッション』=夢や目標に向かって燃やす情熱にあたります。自分自身のMVPを持って成長している人は、それぞれ独自に強い信号を発しています。

自転車操業という言葉があります。普通は『かつかつの状態操業している』というようなニュアンスでネガティブな意味で使われますが、私には、この『自転車操業』という言葉が実にしっくりとくるのです。



アインシュタインがとても面白いことを言っています。『人生とは自転車に乗るようなものだ。倒れずにバランスを取ろうと思ったら、こぎ続けなければならない』。

実際にアインシュタインは、夜によく自転車をこいでいたそうです。そしてある時、走っている自転車と止まっている自転車の光が同じスピードであることに気づいて、相対性理論を思いついた、という話もあります。

この話が本当かどうかは分かりませんが、とてもいい話であるのは間違いない。私自身の人生観にぴったりくる。とにかくこぎ続けていたい。

『何かを伝えたい』と思った時、一番インパクトがあるのは、伝えたいと思っていることに自分がパッションを持っていることだと思います。だから、自分が感動したこととか、自分が悔しかったこととか、それを表に出していけばいいのです。

『為せばなる、為さねばならぬ、何事も』という格言があります。本気になって取り組めば大概のことは成就する。という意味ですが、そもそも『なぜ本気になる必要があるのか』という疑問をお持ちになる方もいると思います。また、『自分は変わるぞ』と決意したとして、具体的に何から手をつけたらいいのかわからない人たちも多いように思われます。

『なぜ本気になる必要があるのか』という疑問に対する答えは簡単です。その必要はないし、義務もない。ただ、『成長したい』と思っている人にとっては、仕事に本気で取り組むことが、成長という果実を手にする最も手取り早くて確実な方法だということと言えます。

『仕事で成長する』というプロセスでは、成長している本人が成長を実感することができます。勉強したり、教養を積むことによっても、人間は成長します。しかし、自分の自由意志で能動的に生きていくためには、情報を吸収したり知識を身に付けたりするだけでは不十分で、自分自身の世界を創る『知恵』が必須です。そして、この知恵を体得するには、仕事を実践することが前提条件です。パッションをもって本気で仕事と取り組むことを通して、人間は充実感や生き甲斐につながる成長を獲得することができるのだと思います。

仕事で成長するもしないも、すべては自分次第です。成長を実感するのも自分なら、その成長を通して新たな発見、自信、充実感、生き甲斐などを手に入れるのも自分自身です。しかも、自分の成長に限界点というものはありません。『まだ足

りぬ、学び学びてあの世まで』という江戸時代の川柳がありますが、人間の成長とは、この川柳の通りだと思います。

自分の身の丈にあったミッション、ビジョン、パッションのMVPをもって、仕事に本気で取り組んでいけば、成長は自然について来ます。

スマイルBOX

長島明伸 委員

- ▶鈴木光則さん 嵐文秀先生、大嶋様、本日はよろしくお祈いします。
- ▶早瀬浩一さん 池坊花扇会 茨城支所 嵐文秀先生、卓話よろしくお祈いします。
- ▶瀧田昌甫さん 法事の為早退します。
- ▶日向野陽さん 幼馴染の嵐さんご苦労様です。卓話楽しみです。
- ▶永盛武さん 今日から米山奨学寄付金を集めさせていただきます。
- ▶中里泰久さん 嵐先生いろいろお世話になります。本日はよろしくお祈いします。
- ▶永井啓一さん 池坊花扇会 嵐文秀先生 卓話楽しみにしておりました。よろしくお祈いします。
- ▶河添康徳さん 池坊花扇会 嵐文秀先生 本日はようこそおいでくださいました。卓話楽しみにしています。
- ▶石川夏実さん 池坊花扇会 嵐文秀先生の卓話楽しみです。宜しくお祈いします。
- ▶前島賢彰さん 池坊花扇会 嵐文秀先生 卓話よろしくお祈いします。
- ▶鈴木健一さん 池坊茨城支所 嵐文秀様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお祈いします。
- ▶長島明伸さん 池坊花扇会 嵐文秀先生 卓話よろしくお祈いします。

本日の合計 12,000 円

累計 377,342 円

出席報告

黒澤昌之 委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
35	22	9	0	4

■メイクアップ

月日	メイクアップ場所	氏名
10月9日	下館 RAC	小林一彦
		溝口明洋
		河添康徳